



可能性

誰にでもあるはずなのに 自分にはないとおもっているもの

他人（ひと）にはいっぱいあるっておもえても

自分にはまったくないとおもってしまうもの

だけどね ほら 君がそうおもっているように

僕は君に無限の可能性があるのを知っているんだ

さあ なにがしたい？

ワクワク ドキドキ

まずは1つ目の扉を開けてみようよ

さあ はじめよう

ガリレオガリレイ

天動説と地動説

信じている人にはそれが真実

人の数だけ真実があって 人の数だけ嘘がある

なら僕は何を信じていけばいいのか

君は何を信じていくのか

できるのか だめなのか

あるのか ないのか

ふふっ そんなことどうでもいいよね

僕が大事にしたいのは君と笑顔で過ごす時間だよ

約束

神様は君に約束したんだ

君の人生を 君の好きなように生きられるようにしてくれるって

君の望むものはなんでも与えようって

雲の上で交わした約束 そして君はここへ舞い降りた

君はおねだり上手になっているのかな？

神様は本当になんでもくれるから 君が本当は要らないって思っても

そのことでいっぱいだと それがほしいんだって勘違いするんだって

おっちょこちょいの神様だね だからほしいものを思い浮かべてごらん

それがおねだり上手の第一歩さ

クリエーション

君はいつも創りだしてる

君にしか創れない 人生という名の道をね

それは他の誰にもできない 君だけに任された大仕事

君を笑顔にするのも 悲しませるのも君次第

何でもかなえる魔法使いは自分の中にいるって知ってた？

アブラカタブラ どんな願いが君の中で見つけられるのを待っているのかな

木登り

高い高いそこから 見た世界はどんなだい？

いつもうつむいてばかりだったから

木に登って世界を見つめる君に 初めて気づいたんだ

僕もそこへ行って 君の隣で世界を見てみてもいいかなあ？

そこへいったら世界はどんな風にみえるんだろうか

近すぎて見えなかった世界が 輝いてみえるだろうか

それともいままで気づかなかったなにかに気づくのだろうか

ミラーボール

流れ出す音楽に はじめは誰もが戸惑う

踊りなれない僕たちは ぎこちなく動き出す

始めてしまえばいつのまにか

身体が音についていく

世界にたった一人だけ

君にしか奏でられないミュージック

僕を捕らえて離さない

さあ踊ろう リズムにのって

変貌

変わりはじめた君に 周りは驚くかもしれない

遠巻きに見る人 応援してくれる人

ひそかに自分もそうなりたいと思っている人

この世界が1色だけでできていたなら

グラデーシヨンの美しさも

混ざり合うことでできる新しい色の発見も

きつとなかったことだろう

さあ君はカラフルなこの世界で何色に輝く？

咲き誇れ！！

<http://p.booklog.jp/book/27186>

著者：のいちごちゃん

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/noichigochan/profile>

発行所：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/27186>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/27186>